除月刊（日曜） 昭和25年10月6日 第三種郵便物認可 昭和26年7月13日 運輸省特別承認扱第684号 磐城日日 昭和29年(1954) 1月16日（土曜日） 第1028号

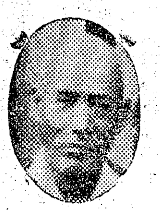
磐城日日

発行所
磐城日日新聞社
福島縣小名浜町渚廻51
電話代表387
編集兼發行人 梅野陸

綱領

▲權力に屈せず言論の自由を守る
▲公平な批判、公明な報導
▲『今日の主張』をもつて本紙の社說とし基本的人權を擁護する

磐城日日新聞社



町政に對する抱負を聽くの會
兩候補卒直に政見開陳す

日本水素勞働組合では今次小名濱町長選擧に當り最も公平な第三者的立場から候補者を撰擇、町民としてよりよき町長を選出しようと十四日午後四時十五分から立花候補、志賀候の補順に組合事務所に於て『町政に對する抱負を聽く』の會を開催し、更に質疑應答を行つて卒直な政見の開陳を求めた

以下は兩候補の同会場に於ける発表政見の大要である

立花氏の政見と質疑應答

私は町長たらん者まずもつて次の信條を持つべきであると思つている

吾が小名浜町は今や前途に解決、發展せしめなければならぬ問題が山積している、しかしそれらの山積された諸問題はよつてもつてこの二つの信條によつて解決されるものであると確信しております

つまりその第一は一般町民のフトコロ具合をよくする事であります

例を農業にとつても生産されたものはそれに適正なる市場がなければならない、これに港灣を整備し、廻せんをより多く誘致し、また工場を誘致すれば人口は必然に增大し市場は擴大され、同時にまた二、三男の就職と云う如きでありますが一切の要は如何にして一般町民のフトコロ具合を良くするかの施策を强力に推行する考えでおります

第二には

知らしめ、聞かしめ、納得のゆく政治を施行する事であります

町民との交流、一致こそ全町民の親しめる町政、これが眞の民主政治の要諦かと存じます、工場誘致に致しましても、今度こうゆう工場がこんな風にして誘致される事になつたと明らかに町民に知らしめるならば、敷地の買收にしても町民各位の納得ずくの町政ならば必ずや町民各位の御協力を得られる事と存じます

私は庶民の代表として立候補致しております 庶民の身となつて町民と眞に血肉を通わして町政に當るならば必ずや町民各位の御協力を得てこの多難な小名濱町政を運用する事が出來ると確信致しております

最後に私は小名濱の「八島屋」の三男坊に生れ小名浜を墳墓の地としておりますもので巷間に流布されているやに聞きますが如く、道義心にもとるが如き行爲は天地神明に誓つてないのでありまして、この立花の潔白をよく〳〵御批判願いたいのであります

……

質問＝再軍備問題について貴方個人としては贊成か、反對か、或いは現狀の如く保安隊程度で良いと考えるか

答＝平和を愛好しない者はないと思う、戰後のあの悲慘な生活を考えるときに、これは戰爭そのものによる社会結果であると考えます

しかし現段階に於ては、再軍備問題は國家的施策でありまして とゝで私は「私は平和を愛するものである」とたゞ御答えしておきます

質問＝町民税の適正化に如何なる施策を持つか

答＝税の適正化は重要な問題である、しかし事務職員にばかりまかせず、町長自ら陣頭にたち、完全なる調査 不平をよく聞き、實情調査の上、三つの不正を二つに、二つを一つにと必掛けるならば出來ると確信致します

質問＝勞組は個々爭議を行い、時にはストライキも現にやつているがこれに對しては

答＝私には私の批判は持つております、しかしとの席上でその間に答えると云うのはチト慘酷ではないですか

質問＝滯納整理については

答＝現在小名浜町には千三百万の滯納があるやに聞いておりますがこの大部分はぎよ業不振時のぎよ業家、加工業者であります、現在ぎよ業協同組合では水揚高の二分をとの滯納整理費に充当し、今年の水揚げを七億とすれば千四百万円の税が納入される事になり、この様な方法で明年中にも整理したいと考える

質問＝勤勞所得など源泉徴收の還元を現在の七分から一割に引き上げる意志はないか

答＝事務的な調査の上でなければそれに對する確答は避けたい、しかし勤勞者の身になつて對策を備ずる事は御約束致します

質問＝第四小學校を辨別に建てる意志は

答＝辨別から雨の中お第二小學校に通學する兒童の姿、更に通わせねばならぬ親御さんの心情を考えるときにどうしても早急に建てねばならぬと思う、しかし場所については辨別地區が工場地帶となるので地元の意見も良く聞いて決定したい

質問＝住宅問題に對する施策は、

答＝現在の公營住宅は縣國庫の補助、或いは入居に扶養者何名 收入いくらと面倒な規則がありますが、これにすら入居出來ないつまりあの防空壕の居住者などにも今後とも住居を與えて行くつもりである

質問＝工場誘致と教育、税の輕減と港灣の整備促進のいずれに重点をおくか

答＝卒直に工場誘致、港灣の整備に重点をおくと御答えする、と云つて教育文化面を輕視すると云うのではない、私は教育委員として學務委員として過去二十年に亘つて教育には關係して來ている、しかし先づ財源である、水野町長は先づ金をつくつて仕事をする、私は仕事をして金をつくる主義である、町税を輕減し、大事業を行うには或る程度金儲けは必要である、私に公共の財源を持つ爲には町は公共の金儲けと云うとゴヘイがあるが利益を生ませる事も必要な事ではないかとも考える

志賀氏の政見と質疑應答

小名浜町は現在三大政策即ち市制施行、工場誘致築港促進をもつて進んでいる事は御承知の事と存じます

市制施行は平衡交附金の增大など住民の福祉增進の意味からも是非合併を促進したい

港灣に於てもこれを促進する事は勿論でありますが、私が町長としてやりたいと思う事はこの地元負担の二五%を如何に輕減するかであります、またやゝもすれば隅に追いやられる小型ぎよ業、ぎよ港としての發展に力を注ぎ、ぎよ夫の福祉增進からも是非、せん員組合の結成を援助し、ぎよ夫とふな主の一体化によるぎよ業の振興、生活の向上につとめ海員會館の樣な施設も是非造りたいと思います

中小商工業の發展についても現在小名浜に工場が建てば平の商店が榮えると云われておりますが、小名浜は小名浜でを目標に幸い私は信用金庫の理事長をしておりますので金融の面からとれが發展を圖つて來ましたが、今後も國庫或いは縣費の融資に盡力しとの發展を期したい

農業施策については私は全くの素人でありますので實地に實際の指導を受けまして希まれる事を施策に移してゆきたいと思う

更に教育問題であるが第一小を成算がたつならば冒險とは思うが北方に敷地を求めて移轉しその跡を商業地域ともしたいと云う理想を持つている、第二小の教室不足、第四小の新設、鹿島方部に於てやらなければならぬもん題は次々に解決してゆきたい

要は財政であるが、先づ第一に稅の公正化があるこれには財務課員を增員し、押しつけず納得する課稅を行いたい、また源泉徴收についてはその還元を增大する方法はあると信ずる

工場誘致に於ても耕地を敷地と買收するならば失業者を生み、農家の生活をおびやかす事になるので失業對策と併わせてやりたい

また私が町長になれば役場內の首切りはやらない しかし直接町民と日常接する配給、財務課などを中心に親しめる親切な役場とする爲、大事の異動を勇敢にやる

結論として小名浜町は南に海、西に工場、北に農中央に商となるが私は一部に偏せず、全般を見てその上に正しい政治派閥、ボスを排撃した一人々々が平和な明朗な町政を確立すると明言する事を御記憶下さい

……

質問＝志賀候補は再軍備もん題について如何なる考をおもちか

答＝正直なところ考えはつきませんが、私も軍人生活の体驗から天皇萬才と叫んで生命を投げ捨てた當時の事を思いますと一人の戰死の際には親、妻子の不幸な涙がありとうした考えから、このもん題について根本的には反對意見です

質問＝町民税は一般勤勞者が高いと言はれるがこの具体策について

答＝これは数字的な計算に基いて算出されているのもですが、今後この点については手数料その他を勘あんして善處して行きたいと思います

質問＝勞働組合の爭議行爲（水素の町民批判の聲）について個人の見解を願います

答＝勞仂爭議は法律に規定されているのでもん題はないと思いますが正行歩な方法でやつていただきたい、町――個人生活――商店、この結びつきは一体でありますので町民に理解を求めた爭議である事が望ましいと思います

質問＝工場誘致も結構な事ですが辨別方面の道路の不備など受入態勢が完備されていない、また現在の町土木費が少いのは

答＝辨別方面の道路は私が町長在職当時買收した土地で泉――小名浜間の道路も近日中に完成の運びとなつてをりますし向理想として縣立高等學校も移動していただく構想をもち、おい〳〵整備して行きたい意向でありますす、次の土木費のもん題ですが、町財政は現在住宅建設に重点を置いていますので財政的に止むを得ない事と思います

質問＝ニコヨン、勤勞者の生活對策について

答＝現在小名浜の失業者は約三百五十名程度ですがこれらの人達に町の土木事業を起し町の直營で常時使用すると云う方針をたて生活の安定を計りたいと思います

質問＝住宅政策について

答＝水野町長の計画を基本線として努めるが出來る限り一人でも多く入居する方法を構じたい

質問＝現町税は妥當な徴收と思われるか

答＝妥當であると思いますが、內情の調査を求めて凹凸の平均化を計つて公平な申告を持しまたその爲の査定会を設ける意向です

質問＝現在の滯納額、及その原因について

答＝滯納額は約一千万円ですが原因はぎよ界の不振にありましてこの面の打開策を計かると同時に徴收にも力を注ぎたいと思いますが急激な方法は事業の振興を逆に走らせまたぎよ夫達も一年間に三ケ月の稼動日數しかない現實を考慮しまして愼重に對處したいと思います

質問＝工場誘致と教育施設の擴充と何れを重点的にやるか

答…工場誘致のもん題は予算その他數地等の関係で推進するとしても早急な實現は可能ではなく、これは当町の遠大な計画に基ずかれている事ですが教育施設の面は現実にやれる仕事であり工場誘致より予算面も可能な線が出ますのでこの方に重点を私は置いて行くつもりです

質問…町民税のもん題と港灣もん題は

答…これも当町がある限り港灣の仕事は續きます―費用をいくらかければこれでよいと云う事業ではない故、重点的にはこれも町民税のもん題に力を私としては注ぐつもりです

質問．小名浜は金と顔の政治と云はれていますが

答…これは、宣傳だと思います、私も六、七年公職から離れてをりましたし金はあるように見られますが、實際はやはり苦るしい生活です、金と顔の政治と云うのは相手の宣傳材料ではないでせうか

天氣豫報 16

【本日】北のち南の風、天氣は次第に悪くなる。

【海上】おだやかだが明日あたりから風波が高くなる。

品質本位、新柄の店
樋口呉服店
小名浜町 電二〇四

編集メモ

町長選挙余すところ五日志賀、立花両候補〃抱負を聽くの会に政見を卒直に發表、何れ兄たり難く弟たり難し しかし志賀秀吉、立花要平にはならない「もの」がある

※

成人式擧行、縣下四萬三千四百男女晴れの成人、新興日本の息吹きは必ずこの世代から盛り上る。小名浜五百成人の前途に大きく期待する

※

杉本善之助氏町議立候補宣言、町議陣動揺す

第三種郵便物認可　新聞定價一ヶ月80圓　一部賣3圓（月曜休刊）
磐　城　日　日
昭和29年(1954) 1月15日　（金曜日）第1027号

試驗操業も不可能

一時間五千円賃貸しは無理

埠頭回答に

悩みの起重機

旧ろう小名浜港三千トン埠頭に縣が五千百万圓を投じて完成をみた花形グレーン、橋型水平引込式起重機が、その後決定した暫定使用料一時間五千圓と言う額を巡つてその試驗操業が小名浜埠頭株式会社荷役扱の入船で豫定されていたが種々な問題が介在、操業に難問を投じて関係者を憂慮させている

同機の運營については去る五日、新装の小名浜町長室に於て小名浜港促進同盟會（会長大竹作摩氏）の常任評議委員会が縣側、小野縣議、高野土木部長、木戸河港課長の諸氏が出席、地元側、水野町長、はじめ各港灣關係者が多数集つて開かれ同機の運營方法を愼重審議した結果、縣は　使用料について尚専門家にこれを依頼し妥当な算出方法で基準を出したい意向を披歴したが一應暫定料金として前記五千圓の線を定めとの額に従つて民間荷役会社より賃貸料を徴收する方針を定めたそしてこの試驗操業を十五日入船の中村汽船第十九雲洋丸＝小名浜埠頭会社＝に豫定されこの打合せが小名浜港務所と埠頭会社の兩者で進められていたところ、十三日埠頭会社より試驗操業は中止の申込があり關係者をうろたえさせた、右の理由として小名浜埠頭会社石津専務は次の條件を港務所に提出　縣との再交渉を願い出た。

▲暫定料金五千円は高い▲試驗操業の折、萬一船体、人命に損傷の出じた場合、これが保證を縣が認めてくれる事▲尚　運轉士の一名は特殊作業なのでこれを二名とし一時間交替で作業を行い事故を未然に防ぐ、と以上三項目が重点的にあげられている

港務所では早速この意向をくみ十四日出縣、縣側の意見を打診しているがこの埠頭側の申入れによつて同機の操業は、二十二日の竣工式を前にして皮肉にも中止され同港の荷役能力に新偉容を期待されていただけに折角の花嫁を……と縣關係者をくさらせ、こんな事なら何處か別な港へでもという聲も出ていると言う。

この回答は十六、七日頃縣より出される模様だが早急な解決策は望めず、縣としてはせめて試驗操業の結果をみて今後に殘された問題を更に關係者を集めて審議したい考をもつている

成人五百の祝典

小名濱演劇舞踊で賑う

小名浜町五百の成人を祝福する晴れの式典は十五日一小講堂に擧行、高木公民館長開会の辭、水野町長挨拶の後、成人證書と記念品が、男子代表伊藤久男氏、女子代表立花タカ子さんに各々贈られ長瀬議長、菅原教育委員長、松出社会教育長など祝辭、吉田公民館主事の閉会の辭後、五條優美師の日本舞踊、小名濱劇研の演劇等、成人たちの前途に祝福をおくつた

なお縣下成人總数は男二一、八〇〇女二一、六〇〇計四三、四〇〇名

平市の成人式

平市の成人式は午前九時から平一小で擧行、長谷川教育長開式の辭、諸橋市長の挨拶、来賓多数の祝辭があつて、映畫觀賞など行つた

平の成人は男四二四、女四〇七、計八三一名

植田の成人式

植田町の成人式は十五日午前十時より植田小學校で擧行した

成人者一八九名（男九十名、女九十九名）来賓に渡邊町長を初め各關係團体代表多数參列、君が代合唱、蛭出教育長の開式の辭、渡邊町長の式辭があつて成人者代表小川通君、吉川光子さん等に成人證書と記念品を贈呈、長瀬教育委員長、来賓代表鷲議長、園部中学校長下山田青年会長、古川婦人會長等祝辭を述べ終つて菊多劇場で映画觀賞を行つた

錦町の成人式

錦町の成人式は十五日午前十時より新装の公民館日本間に於て行われたこの日成人者一七九名（男七六、女一〇三名）を初め来賓多数參列した

先づ式は菅波教育長の式辭があつて高木町長より成人者代表に成人證書と記念品を贈呈、高木町長赤津教育委員長、山崎議長、大津青年会長、赤津婦人会長等の来賓祝辭があつて成人の体驗發表を古田孝元、鈴木久光君助川サヨ子、大谷幸子さん等代表四名が各々發表、助川喜一君の答辭があり盛会裡に式を閉じた、終つて參列者会員によるレクリエイションがあり和氣あい〳〵の中に散会

杉本氏が立候補！

町議陣無競争当選の夢破る

小名浜町議補選無競争当選の夢破り、十五日立候補締切り前日諏訪町杉本善之助氏が立候補を宣言した

同氏は前參議選に緑風会から出馬惜しくも次点となつた日大講師杉本健氏父君、實踐政治家としての試驗濟經歴あり十六日早朝立候補届をすることになつた

積極的合併促進え

審議会動く

十四日知事公舎に於て開かれた縣町村合併促進審議會初の常任委員会は縣下十七地區四十九カ町村の現地調査を一月末から四班に分れて行う事になり三月一パイの合併を目指して積極的に動く事を申合せた

【浜通り班】石城郡小名浜町、泉、渡辺、江名▼上小川、下小川、赤井▼澤渡、三阪、永戸、箕輪▼相馬郡鹿島、八澤、上眞野、眞野▼同郡福田新地、駒ヶ嶺

常磐名産　みりん干

候補者に尋ねる

◇立花氏◇　④　◇志賀氏◇

一、本年三月一ぱいに市制施行の確信があるかまたこれに臨む対策、若し市制實施不能の場合、小名浜並に近接町村の發展に大きい難を殘すと思うが責任を如何に探るや

小名浜町古港　佐藤

町民協力で必ず可能

小名浜町にとつて焦眉の問題は市制の施行であると思う。然も近接町村を合併すると云う難しい問題を伴つているだけに愼重な對策と事に當るに至誠をもつてすると云う心掛けが必要である。

この合併問題については既に町村合併促進法が施行になりとの精神に基いて縣も積極的に應援しているが特に小名浜の場合はむしろ縣是と云つてもよい位に小名浜の市制施行を推しすゝめて呉れていることは力強い限りであります。

既に泉、江名、渡辺の各町村とも小名浜との合併については眞劍に考ておりまして十九日には小名浜町役場にこの三ヶ町村の關係者が参集して町村合併懇談会を結成する氣運にあります。この懇談会の開催など積極的な活動を開始することになつておりますことは三月一杯までに小名浜市の誕生を願う縣當局並に各關係者の熱意のある御協力の賜であると信ずるものであります。

こうした状況下にあつて私は小名浜の市制施行は今までより急速に進展すると確信しており、また先輩各位は勿論町民の一人一人が市制施行の促進について大いなる決意のもとに協力して頂いていることは誠に强い限りで今後もこの目的達成のため絶大な御支援を得て一つの町民運動を展開して行くならばこれが急速な實現は必ずや可能であると信じております。

責任は町長も町議も

一、本町は鹿島村合併に依つて、市制施行が可能とあつたが、本町が鹿島村に合併申入後三年も費した關係で市制の機を失つて仕舞つた、愈々合併となつた昭和二十八年十月一日實施された町村合併促進法に依つて、國家が從來の町村を、三分の一に縮減しようとする方針に則り、江名、泉、渡辺の二町一村を單位として合併せんとする方針は、本町に取つてそれ程好機を與られたものはない、理事者は從來の優柔性をかなぐり抛けて、促進合併法の示す熟意に基き、急速な合併案に依つて關係町村との折衝に當るとせば、全關係可能であつて、市制施行又容易であると信ずる、例せば注渡邊は、專農町村である様に、鶴玉川、鹿島の合併より得たる体驗を生かし關係町村との、合併意欲の向ふ處を提へ以て協調する江名町に至つては、ぎよぎよう面に於て先づ同音同曲である以上茲に一致点がある筈である、然らば理事者の工夫と構想に依つては、合併が可能であつて、若しそれが從來の如き成り行きに任せて置くとせば、言うまでもなく、町理事者の責任で町議も亦一部責任があると斷じてよい

社告

本社は常磐綜合開発の中核とも言うべき小名浜町長選擧の重要性に鑑み選擧期間中「候補者に尋ねる」の欄を設けまして充分に候補者の意見を開陳披れきせしめ、確實な活字となつた口約として選擧民各位の候補者選擇の資とすると共に小名濱町政の抱負經綸を廣く常磐地區に發表して、相互發展の資に供したいと存じ、讀者各位の絶大なる御支援を御願い致します

『候補者に尋ねる』

一、方法＝廣く讀者より候補者に對する質問を募集し、全候者に回答を求めて同時に發表する
一、質問は葉書で本社「候補者に尋ねる」係宛
一、質問の内容は自由、但し最も多くの選擧民の欲するものを希む
一、掲載分に薄謝を呈します
一、〆切は一月十八日迄
一、質問回答は十二日號より二十日号まで連日掲載致します

小名浜町渚廻五一
磐城日日新聞社

純毛服地ご注文洋服専門
紳士服　婦人服
嶄新なスタイルと
良心的な仕立
きつと皆様のお氣に召す
チケット御利用下さい
大井洋服店
福島縣小名浜町T630茨城郡太田町T531

平マーケット　サービス券
50圓（本券切り抜きいつでも御利用下さい）
現金300圓以上御買上に50圓として通用
皆様の店　平マーケット　電297

邦洋喬二本立
15～17日迄
同時上映
笑いとお色氣の娯樂版
總天然色
タニーケイの牛乳屋
快傑黒頭巾
大友柳太郎　喜多川千鶴
キンヒ館　電七〇

チケット歡迎
皆様の店
平マーケット
小名浜第二小学校前　電二九七
舊年末年始の御贈答品
良い品嬉ばれる品私共は常に皆様の御相談相手として待機しています
皆様のお店です
多服地ネルカセン純毛特價
夜具地と裏地フトンの手入
カネボウ毛糸　1900円
松月足袋別珍特製160円
豆別珍55円大人100円
純毛コツトン1500円より
セータカーデガントツクリ
裏毛メリヤスはオリエント
学生服セーラ服學帽カバン
化粧品柳屋メヌマ　ジユジユ・ウテナ　80円
ちどりフトン綿
經費をかけずに良い品安く